

利用成果報告書

- 1 課題番号 H25-006
- 2 報告者 影近 弘之(東京医科歯科大学 生体材料工学研究所薬化学分野・教授)
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 核内受容体の医薬化学研究に関する化合物の組成分析
- 5 使用装置名 元素分析装置(依頼分析)
- 6 利用期間 平成 25年 9月 1日 ~ 平成 26年 3月 31日
- 7 利用成果・実績の概要 試料66件について、元素分析を行い、実際の組成式を確認した。
- 8 社会・経済への波及効果 分析に供した化合物を核内受容体の医薬化学研究に活かし、将来の創薬に繋げる。

9 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
疎水性球状分子を骨格とする新規プロゲステロン受容体アンタゴニストの創製(ポスター)	森修一、竹内由起、中野英一、藤井晋也、棚谷綾、影近弘之	第31回メディシナルケミストリーシンポジウム	H25.11.20	国内
ホウ素クラスターを基盤としたビタミンDの構造展開(口頭)	影近弘之、藤井晋也、増野弘幸	第341回脂溶性ビタミン総合研究委員会	H25.12.6	国内
カルボランを基盤とした新規ビタミンD誘導体の創製(ポスター)	八田健司、河内恵美子、増野弘幸、藤井晋也、影近弘之	日本薬学会第134年会	H26.3.27	国内
エストロゲン受容体の多様な生理作用解析のための蛍光性リガンド分子の開発(ポスター)	白石拓也、平野智也、藤原敬士、影近弘之	日本薬学会第134年会	H26.3.27	国内

10 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文(発表題目)	発表者氏名	発表した場所(学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Design and synthesis of 4-(4-benzoylamino-phenoxy)phenol derivatives as androgen receptor antagonists..	Yamada, A.; Fujii, S.; Mori, S.; Kagechika, H.	ACS Med. Chem. Lett. 2013, 4, 937-941	2013年	国外
Synthesis and structure-activity relationship of p-carborane-based non-secosteroidal vitamin D analogs.	Fujii, S.; Kano, A.; Songkram, C.; Masuno, H.; Taoda, Y.; Kawachi, E.; Hirano, T.; Tanatani, A.; Kagechika, H.	Bioorg. Med. Chem. 2014, 22, 1227-1235.	2014年	国外

- 11 特許 該当なし